

■■化学療法投与計画書《変法M-VAC療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp) メトレキサート(メソトレキサート) 30mg/m² day1,15,22
 ビンブラスチン(エクザール) 3mg/m² day2,15,22
 ピラルビシン(ピノルビン) 30mg/m² day2
 シスプラチン(ランダ) 70mg/m² day2 4週毎

本管①	Day2
ラクテック"G"輸液	500mL 1 袋

レジメンコメント1
レジメンコメント2

※ ※300mL/時間

生食に1mg/mLの濃度で溶解
【mL】生理食塩液 20mL mL
ビンブラスチン硫酸塩 mg
エクザール注射用10mg:

静注

本管②
大塚糖液5% 500mL 1 袋

※ ※250mL/時間

アプレピタント125mg1カプセル内服(シスプラチン投与開始1~1.5時間前)

大塚糖液5% 20mL 1 管
ピラルビシン塩酸塩 mg
ピノルビン注射用10mg:

静注

本管③
グリセオール注200mL 1 袋

30分

本管④
パロブセトロン点滴静注
バッグ0.75mg 50mL 1 袋
デカドロン注射液1.65m 6 管

15分

本管⑤
大塚生食注 500mL 1 袋
シスプラチン mg
ランダ注50mg/100mL:
ランダ注10mg/20mL:

180分

●アプレピタントカプセル
 Day2 125mg
 (シスプラチン投与開始1~1.5時間前)
 Day3,4 80mg
 ●デカドロン錠4mg
 Day3,4,5 2錠(8mg) 2×/Day

本管⑥	100~150mL/時間
↓	KN3号輸液 500mL 1 袋
↓	
↓	
本管⑦	100~150mL/時間
↓	KN3号輸液 500mL 1 袋
↓	
↓	
本管⑧	100~150mL/時間
↓	KN3号輸液 500mL 1 袋
↓	
↓	

Day15へ続く

<注意すべき副作用>

- 食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●下痢
- 発熱 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
- 手足のしびれ ●白血球減少
- 赤血球減少(貧血) ●血小板減少
- 腎機能低下 ●肝機能低下 ●心機能低下

<実施時の注意>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。

●ピラルビシン

本剤の尿中排泄により尿が赤色になることがある。

●シスプラチン

アルミニウムと反応して沈殿物を形成し、活性が低下するので、使用にあたってアルミニウムを含む医療用器具を用いないこと。本剤は光により分解するので直射日光を避け、点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。

メトトレキサートによると思われる副作用が発現した場合には、通常レボホリナート(アイソボリン)として成人6~12mgを6時間間隔で4回筋肉内注射する。